

俳句部門 複数句の部

【佳作】

「花は葉に」

戒能 李咲

姿見の前二度回る春コート

我ひとり歩む裏路地落椿

白き髪混ざる母の背啄木忌

麗かや教室に三つ編みの君

殻のみを掬い上げたる蜆汁

花は葉に付箋の増えた単語帳

夕立に駆ける人々を眺めおり

子らの代わる代わる入る片かげり

夏服や背にイタリアの港街

童謡を口ずさみたる夏の暮

林檎むくそのうち皮の厚くなる

一樣に揺れても各々がコスモス

制服の藍色深き初秋かな

長き夜は朧動かすためにあり

白露や父の涙を隠しけり

古書の山崩しては積む冬籠

白鳥を橋の上より眺めけり

焼芋を割りて謝罪の言葉とす

節分や鬼の見慣れた背に向けて

湯豆腐や何とはなしに語ること